

8/17

姉妹町交流

江尾十七夜（鳥取県江府町）に参加

8月17日（水）、姉妹町である鳥取県江府町にて「江尾十七夜」が開催されました。西ノ島町からは海産物屋台を出店。サザエの壺焼きを販売しました。さざえの壺焼きはとても好評で、多くの方にお買い求めいただき完売しました。

このお祭りは、江府町にて500年もの長い間受け継がれており、毎年8月17日に開催されています。

祭りの顔でもある「ごだいぢ踊り」をはじめ様々な催しが行われ、また江尾駅周辺では露店がぎっしりと並び、多くの人で賑わいました。



終盤には、日野川を挟んだ対岸の久連山に「十七夜」の火文字が浮かび、合わせて花火が打ち上げられ、盛大に行われた祭りを締めくくりました。

9/6

100歳を超えてもいきいき元氣

「しまね健康超寿者」の表彰

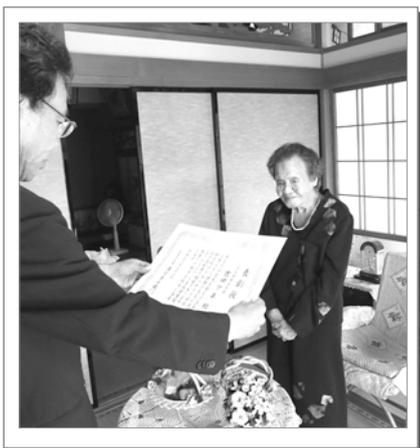
しまね健康超寿者表彰とは、心身ともに健康で、いくつになっても現役意識を持ち続け、社会との関わりを持ちながら生活している100歳以上の「健康超寿者」を表彰するものです。

今年は島根県内で6名の方が表彰され、西ノ島町からは、吉田アキさん（別府）が見事受賞されました。

吉田さんは、1人暮らしで身の回りのことはご自身でされ、新聞も眼鏡無しで読まれます。

長寿の秘訣は「好き嫌いなく、肉・魚・野菜なんでも食べる」と答える吉田さん。食事でもご自身で作られており、野菜はすべて自家栽培されています。

これからも、お身体に気を付け、元氣にお過ごしください。



10/23

ランナーへの「声援」を  
お願いします！

平成28年10月23日（日）、左記の日時で『第4回西ノ島ハーフマラソン』を開催します。マラソンランナーにとって、沿道からの声援はとても力になりますし、嬉しいものです。参加者全員が完走できるように、当日はランナーの皆様への温かいご声援をお願い致します。

日時：平成28年10月23日（日）

種目：(1) ハーフ (2) 10 km

(3) 3 km

会場：西ノ島町観光交流センター

コース：浦郷港から島根鼻公園、鬼舞展望所、赤尾展望所を駆け巡る、ハードながらも絶景を楽しめるコースです。※種目によって、コースが異なります。



9/17

全国へのPR・情報発信が可能に

### 別府港がみなとオアシスに登録

9月17日(土)、別府港が『みなとオアシスおきにしのみま』として登録されました。

「みなとオアシス」とは、港を中心とした地域住民の交流や、観光の振興など地域振興の取り組みが、住民参加によって継続的に行われる施設(みなと)について、国土交通省地方整備局長等が認定・登録するものです。今回の登録により、今後、国土交通省、地方整備局のHPにイベント情報などを掲載出来るようになり、全国へのPR、情報発信が可能となります。

また、この度、「NPO法人てにやわす」代表の山谷裕昭氏を会長、西ノ島町長を副会長として、官民一体となった運営協議会が発足しました。西ノ島町の玄関口である別府港を中心に、今まで行ってきたイベントに加え、新たな催しも考えていき、賑わいを創出していきます。

みなとオアシス

「おきにしのみま」

運営協議会事務局

(西ノ島町環境整備課)



9/17

2年に1度の「西ノ島へ配流された後醍醐天皇を偲ぶお祭り」

### 2016年 帝祭

9月17日(土)、別府至誠館周辺で「みかどまつり帝祭」を開催しました。この祭りは西ノ島へ配流された後醍醐天皇を偲ぶお祭り、当日は大勢の来場者でとても賑わいました。

今年の目玉として別府至誠館にて「後醍醐天皇サミット」が開催され、天皇の歴史に詳しい島根県立大学 短期大学部名誉教授の藤岡大拙氏による講演や、天皇ゆかりの地の関係者(津山市・琴浦町・大山町・江府町・西ノ島町)によるディスカッションなどが行われました。そのほか、江府町から天皇が食されたと言われる団子汁が振る舞われたり、観覧者からは活発な意見が出たりと、大成功のサミットとなりました。

ふるさと館裏の会場では、じょんじょん太鼓によるオープニングや地元有志による「黒木御所の歌」の披露、鏡開きや餅まき・お菓子まき、各種出店で賑わいました。午後からはあいくの雨模様となり、恒例の子供神輿や御所車行列は至誠館の中で行われました。祭の最後には、別府湾に1,250発の花火が打ち上げられ、大歓声中、帝祭は終了しました。祭りに参加してくれた皆さん、ご協力いただいたスタッフやボランティアの皆さん、ありがとうございました！

